



# 西麗会会報



埼玉県立浦和西高等学校同窓会

西麗会ホームページ <http://www.seireikai.org/index.html>

## 5月26日(日)母校で会いましょう

西高の文化祭には  
文化の香りがあった



管弦楽部コンサート

茶道部お点前



総会は5月開催です。

2012年9月 西高祭にて  
(撮影 広報部)

### 西麗会総会のご案内

日時 5月26日(日)

10時30分 総会開会

11時30分 記念授業

12時40分 懇親パーティー

14時30分 閉会予定

会場 西高50周年記念館

記念授業講師

山口 畑一先生

演題

「日本郷土玩具と

農民美術運動史」

\*

今年も5月の日曜日開催です。

おましがえのないよう、声をかけ

合ってお出かけください。





会長あいさつ

# 「西麗会を支えてくださるみなさまへ」

西麗会会長 高橋 幸雄

全国の西麗会会員の皆さん、お元気ですか。我等が母校の同窓会「西麗会」の活動に対し、いつも変わらぬご支援をいただき、本当にありがとうございます。この機会をお借りして改めて御礼を申し上げます。

とりわけ、平成二十四年版西麗会名簿の発行に際しましては、格段のご協力をいただき感謝申し上げます。おかげさまをもちまして同窓会活動の基盤ともいべき名簿の改訂が成り、喜びに堪えません。

さて、今年もまた年に一度の西麗会総会の季節が巡ってまいりました。

平成二十四年度一年間にわたる西麗会の活動報告と、新年度総会のご案内を掲載した会報第37号を本日お手元にお届けいたします。本年度もまた会員各位からたくさんのご寄付をいただきました。

毎年にわたるこうした貴重なお志こそが、年会費や広告協賛に依らない本会の活動を支えてくださっています。重ねて御礼申し上げます。

「あの先生は今」や「あの友・この友」に懐かしい消息を尋ねてみてください。

来る五月二十六日には、ひとりでも多くの会員の皆さんに母校にお寄りいただき、あの「高校時代」に戻っていただけたらと念じて止みません。

お目にかかれることを楽しみにお待ちしております。

5月26日 西麗会総会 記念授業講師は

山口畑一先生 (社会)

## 「日本郷土玩具と農民美術運動史」

山口畑一先生は昭和二年、現在のさいたま市岩槻区に生まれ、埼玉師範学校を卒業後更に早稲田大学に進まれました。その後東大大学院長期研修生としてご研鑽後、昭和四十一年四月浦和西高に社会科教諭として着任され、四十五年三月までご指導いただきました。西高在職中には学園紛争があり、学校側の代表として生徒たちと熱い討論を交わしたのが深く印象に残っているそうです。

昭和六十三年三月越谷西高校長を最後に退職された後も「日本郷土玩具研究会」を始めいくつかの会に所属なさって、郷土玩具及び日本農民美術運動史を生涯の研究課題として今も研究していらっしゃいます。

ご自宅には長年に渡って収集、整理された素晴らしい郷土玩具のコレクションが所狭しと並び、その由来をお聞きするのも、楽しく時が経つのを忘れるほどでした。

総会の記念授業では、郷土玩具の歴史やその他中身の濃いお話が聞けることと思います。



ることと思います。

クラスメートと一緒に「今日だけ西高生」に戻って、記念授業を聞きに来ませんか。

たくさんの方の同窓生の皆さんと母校でお会いできるのを楽しみにしております。

(文責) 綿貫保子・阿部博之

(昭和45年卒)

## 私と西高

## 「高校紛争と制服の自由化」



大川孝雄 (昭和四十七年卒)

西高サッカー部第三期黄金時代を築きつつある時であった。

ぼくたちが浦和西高に入学したのは、一九六九年のことだった。

プールはまだ工事中で、管理棟と呼ばれていた職員室は亀池の横、現在靴箱が並んでいる棟に位置し、理科棟ができるのは二年後の秋だった。今の体育館はなく、庭とH・R棟間の中庭には部員が作ったという二面のテニスコートがあった。

もともと、お蝶夫人も藤堂君、岡ひろみもまだデビュー前の時で(おっと、若い世代には通じないか?)、テニス部よりもサッカー部が大活躍していた時代だった。

四年前には二度目の全国制覇を果たし、ぼくらの一年下に元川崎Fの監督を務めた今井敏明、二年下に元G大阪監督の西野朗両君が入学し、

沼田んぼ一带は、本物の田んぼ(笑)で埋めつくされ、ぼくらの代の卒業アルバムにはその収穫され干された稲束の前で写真を撮っているクラスが何組も残されている。田んぼのあぜ道を歩けば、青大将がとぐるを巻いて日向ぼっこをしている光景も珍しくはなかった。

しかし世の中は何かと騒々しい時代で、この年の一月には学生たちによって東大の安田講堂が占拠され、史上初の東大入試が中止となる事態を引き起こしていた。国立・私立を問わず、全国の大学が学生運動に巻き込まれ、ロックアウトされる学校が続出していった。

高校も例外ではなく、長崎県では佐世保北高が村上龍たちによってバ

リケード封鎖され、都立新宿高校では、坂本龍一たちが校舎に立て籠って学校と対立をしていた。

そしてわが浦和西高にもその波は押し寄せ、二学期の中間試験日前日、一〇月二六日にH・R棟の二箇所の階段が椅子・机を積み上げたバリケードで封鎖されてしまった。埼玉県としては初めての事件で、全国紙をはじめNHKなどでもニュースにされた出来事だった。

その後、授業が再開されるまでは三週間を要し、全校生徒が真剣になつて学校改革等の話を進めた時間でもあった。翌年に日米七〇年安保の再批准を控え、高校生といえども否応なしに政治に関心を持たざるを得ない時代でもあった。

おそらく、この三週間の出来事が、ぼくに限らず同時期に西高で過ごした多くの仲間たちの、その後の人生のベクトルに、少なからず影響を及ぼしたことは確かだろう。

バリ封後、西高に於いては、県内では熊谷高校と二校のみ存在した高校生による互助組織「健全会」が廃止され、全国でもまだ珍しかったカリキュラム制による授業の導入、そして生徒会の決議による制服の自由化などが次々と実地されることに

なった。……と、字数の都合もあるので一言で書いてしまったが、それはもう大変な苦勞が生徒会をはじめ、当時の西高生にはあったんだよ(苦笑)！ということを書き添えさせていただきます。

そうそう、ぼくのこと？あまり大したことをやってきた人間じゃないのでこれでも見て楽しんでね。



一つ下の後輩で、ヤマハのポプコンのグランプリ歌手でもあるアーティストの香代子WOODSさんがぼくの拙い詞に曲を付けてくれたものです。\*モデルは大宮公園小動物園のワライカワセミくん。

## プロフィール

クリエイティブディレクター。

JTB、JR(旧国鉄)のキャンペーン広告に携わる。JNTO(日本政府観光局)のオフィシャルガイド(日本国紹介)等のホームページを作成。株式会社まほろ代表。



# あの先生は今



平成二十四年五月二十七日に開催の西麗会総会の案内状にご回答いただいた先生方の返信の一部を掲載いたします。紙面の都合ですべての先生方のご紹介ができないことをお詫びいたします。

また、一部抜粋しておりますのでご了承ください。(敬称略)

## ～ 出欠はがきから ～

### ● 東松山市 荒井 桂 (社会)

西麗会会報有難く、懐かしく拝読。特に訃報が貴重に感じられる年齢になりました。今年で喜寿を迎えます。当時の先生方は、僅かしか残っていません。無常迅速か。

### ● さいたま市 荒井英明 (英語)

私は八十七歳ですが、死ぬまで小



記念授業講師 片山先生

2012年総会にて

中、幼稚園生を守る巡回を続けま  
す。防犯ボランティア。犬や猫は  
大好きです。

### ● さいたま市 中村 清 (国語)

家に籠らず外の空気を吸うよう心  
掛けております。

昨年は仲間と湿原植物や高山植物  
を訪ねて高原を歩き、まだ歩ける  
と氣をよくしました。

### ● さいたま市 瀧本 滋 (理科)

会報ありがとうございました。  
他界なさった諸先生とは一緒に西  
高で勤務された方々です。非常に  
寂しい思いです。

### ● さいたま市 悴田てる (家庭)

西高校の前身の第二高女に着任し  
たのは昭和二十年の春でした。  
女学校時代の親切なご縁で就職が  
決まり有難い事でした。皆様も良  
い友人を沢山持つてください。

### ● さいたま市 松崎豊子 (英語)

元氣に俳句、ハイクを作り、楽し  
んでいます。  
いつまでも、変わらぬ西高であり  
ますように！

### ● さいたま市 仲西駿策 (体育)

芥川、奥野の両先生が鬼籍に入ら  
れ淋しい限りでございます。

小生にとつて駆け出し教員時代最  
良のご指導を頂いた大恩人とし  
た。ご冥福をお祈りします。合掌

### ● さいたま市 山口畑一 (社会)

学園紛争の記憶が蘇る昭和四十五  
年卒生の還暦を祝う同窓会に綿貫  
さん、阿部先生始め幹事さんのご  
尽力で出席でき胸いっぱいです。  
皆様の無事長久をお祈り致します。

### ● 静岡県 都築 涉 (教頭)

西麗会会報拝読して驚いていま  
す。訃報の欄を見て小生より若い  
先生方の名前や高校紛争の時に  
お世話になった先生方の名前が多数  
あり、ご冥福をお祈りします。

### ● さいたま市 伊藤美和子 (事務)

会報有難うございます。  
懐かしく拝見しています。西麗会  
の発展を祈念いたします。

### ● さいたま市 高田美保子 (事務)

西麗会会報を有難うございます。  
私も三月末に朝霞高校を定年退職  
致しました。西麗会会報はいつも  
懐かしく拝見しております。

### ● 蓮田市 本橋恒雄 (書道)

会の益々の発展をお祈り致します。  
昨年は記念授業にお招きいただき  
ありがとうございました。  
今年、埼玉県美術展覧会(県展)

の運営委員・審査員として書道界  
で多忙な日々を過ごしています。

### ● 鳩山町 和田幸男 (社会)

西麗会報拝読、感謝。西高生と同  
窓生の活躍を承知し、誇りに思  
います。個性と伝統を末長く持続発  
展させたいと思います。

### ● 川越市 吉沢義和 (書道)

元同僚の訃報を散見するようにな  
りました。寂しい限りです。  
小生手帳に余白がないくらいに動  
いております。総会のご盛会を。

### ● 川口市 岡沢静子 (国語)

ほどほどに元氣です。今年も五月  
から十月まで、安曇野市で北アル  
プスを眺めて暮らします。

### ● 川越市 中村正美 (英語)

昨年初めての卒業生たちが、浦和  
で十クラス合同の同窓会を開いて  
くれました。その後の何十年にも  
亘る教員生活を支えてくれた彼ら  
たち、感動の再会でした。

### ● さいたま市 菅原鉄也 (国語)

今年は大宮工業高校でお世話に  
なっています。佐野市の山奥で  
週末農業を楽しんでいます。四季  
折々の変化が目を楽しませてくれ  
ます。

●川越市 長谷川肇志(数学)

過日、西高在任中のクラス会に招かれて、大変懐かしく楽しい時間を過ごしました。古希近い皆さんは若々しく、当手を思い感無量でした。ご発展を祈ります。

●鉦田市 斉藤 恂(国語)

いよいよ後期高齢者というものに分類される齢となりました。遠路はるばる訪ねて来てくれる教え子達と飲み明かし、語り明かすのが一番の楽しみです。まさに老人は過去を語るです。

●東松山市 館野俊則(国語)

六十五歳を期して、国語の教師に戻りました。大学と専門学校で「文章表現法」の授業をやっています。毎晩、授業のプリントを作り、西高にいた時と同じ日々です。

●さいたま市 黒澤和子(家庭)

一週間の多くは、公民館生、書道等を習い、たまにお茶大に、この間はゼミの研修旅行に誘われ、先生方、学生と新緑の鬼怒川を散策、感無量の気持ちでいっぱいです。

●さいたま市 米原 豊(音楽)

昭和六十一年の赴任の西高は「新歓」「生徒総会」「応援(体育祭)」「(前日徹夜の)文化祭」そして「卒業式二部」。あれから二十六年、生徒達の命懸けの学園生活を懐古しています。

●さいたま市 永瀬正臣(校長)

ご盛会をお祈り申し上げます。年齢の所為か、体調整わず、狭山の雪冤運動も思うにまかせず、切歯扼腕、又政権交代の結果にも日々慨嘆の時を過ごさばかりです。

●さいたま市 大沼加代子(英語)

東京電機大学の学習サポートセンターに勤務し四年経ちます。論文に取り組む学生の手助けをする中で最新科学の一端に触れることができてとても楽しいです。

●さいたま市 堀川ひろみ(国語)

元気でいます。昨年は活躍している卒業生の姿を拝見しました。

●さいたま市 青木 香(英語)

生徒、教員として十四年通った西高ともお別れし、吉川高校に異動しました。東部地区より母校の発展を見守っています。

●さいたま市 島崎富夫(教頭)

定年退職を迎え、教員生活を無事に終えることができました。今は高P連事務局長として仕事を続けています。高校PTAの発展に尽くしていきたいと思えます。

●熊谷市 山下昭夫(校長)

拙歌二首

あしびきの白根の山の火口湖は何秘めたるやこの水の色  
これやこのわすれな草か目にとむる情念うすき歳となりても

●さいたま市 関根 廣(校長)

硬式野球部の甲子園大会埼玉県大会の応援に行き、久しぶりに西高の校歌を歌いました。

●さいたま市 小林 功(国語)

いつも週末に利用している市立図書館の駐輪場には「浦和西高」のステッカーのついた自転車が多めである。ずいぶん長い時間勉強しているようだ。夢をかなえるために努力している西高生、応援したくなります。

●さいたま市 谷川 洋(理科)

大宮東高校に異動して六年目となりました。異動直前に病気が発覚し、ご迷惑とご心配をおかけしました。手術後五年が経過し、ようやく「完治した」と公言できます。

●鴻巣市 吉野修平(事務)

現在は博物館で施設管理を担当しています。学校とは少し異なる仕事の経験を活かして職務を遂行しております。

素晴らしい時間を過ごすことができました西高及び関係者の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。西高の益々のご発展をお祈り申し上げます。

●さいたま市 柳澤健一(社会)

五年間という短い時間でしたが、最後の教員生活で、色々印象に残りました。本当にお世話になりました。いま越谷南高校で非常勤をやっています。元気で挨拶がよくできる生徒たちです。

西高を去って、西高の良いところが見えてきました。校門の樹木の本格的な坂、樹齢何年になるのかユリノキの樹列、斜面林の雑木たち、弓道場の八重桜。中庭の木々や花々。業務さんにとっては大変なお世話だったと思います。

環境ばかりでなく、心根のやさしい教え子たち。特に旧三年二組、六四の諸君たち。君たちの最後の担任・教科担任をできたことは、わたしの幸せです。山岳部の諸君登ってますか。山はいいですね。わたしも登ってますよ。最近の西高改革について、「角を矯めて牛を殺」さないようお願いいたします。

西麗会、保護者の方々に心よりお礼申し上げます。



生徒会役員あいさつ 2012年総会にて

# あの友 この友



題字・カット  
山本鐘互  
(昭和40年卒)

## 新宿区 大濱(関根)愛子(昭和13年卒)

会報ありがとうございました。ことは九十という峠に立ち、若き日になつかしく思っております。皆様のご活躍と、西麗会の発展を、心から祈念いたします。

## 宇都宮市 寺内房江(昭和13年卒)

いつも会報ありがとうございます。今は長年のクラスメートからのおたよりが何よりの楽しみです。遠い西高時代がなつかしくこれからも友情を大切に致します。

## 藤市 川島純子(昭和23年卒)

ご連絡有がとうございます。最近視力がよわり読み書きが不自由になりました。

## 渋谷区 宮田仁子(昭和26年卒)

M7の東京直下型地震の予知情報にさして動じないのは、八十年余り生きてきた強みでしょうか。とはいえ、大切な家族や友人の無事を神仏に祈り、せめてもの防災用品の準備に、3・11の教訓を生かしております。

## 藤沢市 蓮沼(松本)敏子(昭和26年卒)

私儀八十路に達しましたが、お陰様で元気で楽しく過して居ります。後二十年巨威を目標に頑張つて居ります。

## さいたま市 金子美里(昭和29年卒)

荒井淳雄先生、悴田てる先生、平山良吉先生、お元気なコメントありがとうございます。対岸で大声を出し合った別所沼はきれいな公園になりました。市民のイコイの場です。

## 東京都北区 小林稔正(昭和29年卒)

平山先生のお便り拝読。当時、授業の初めに黒板に世界地図を上手に画いたり下宿では雨が降ると傘をさす等ご自分に生徒の視線を集中させるご努力が思い出される。

## さいたま市 原 恵行(昭和30年卒)

卒業後五七年、二年毎の同期会が六月三〇日に予定。卒業年に因んだ部会「サンマル会」でゴルフ、ウォーキング、山登り、スキー等活潑に楽しんでいきます。

## さいたま市 荒井利尚(昭和31年卒)

健康が一番の宝です。地球環境が

ローバル化の潮流、天災・人災に注視しながら、憂えることの多い時代ですが、こういう時こそ、前向思考で歩んでいこうと思います。

## 古河市 長浜勝栄(昭和31年卒)

75才をすぎ亡父母の供養もかね、念願だった四国88ヶ所の遍路の旅に出ました。一回目は、一番から三十一番まで、般若心経を称えながらの女房との巡拝…。心ひきしまる旅でした。浦西の益々の御発展をお祈りしています。

## さいたま市 沢村(前川)栄子(昭和34年卒)

年を重ねるにつれ友人、知人の訃報を耳にする事が多くなり、とても寂しいです。私自身の人生も残り少なくなつてるので時間を、大切にしたいと思つてます。

## 新潟市 中枝(館野)和子(昭和34年卒)

五月に憧れのクイーン・エリザベス号のつてクルーズをしてまいりました。二千名の乗客のうちほとんどが外国人で、毎日発行される船内新聞でドレスコードが決まり別世界の華やかさでした。

## 千葉市 佐藤(河合)喜和子(昭和35年卒)

桃・杏の優しい花に続いて桜前線に美しく彩られた日本列島でしたが、薬局現場の人間模様と言えば、咳だけいつまでも残る風邪症状が続いています。今回は、咳に対する漢方について考えてみましょう。

・麦門冬湯：潤いが足りない乾性の咳。タバコの吸い過ぎ等でのどが乾

いて、気温の変化でむせるように咳き込むとき、咳が出てのどの痛みがある場合(感染性の咳には無効)

・麻杏甘石湯：麻黄・杏仁・甘草・石膏の薬味構成で、麻黄剤です。(感染性の咳にも有効)

・清肺湯：長引いた咳・痰・ねばっこい痰が絡む、さらに粘稠な痰が絡んで咯出てきず、激しい咳が続くもの。

・滋陰至宝湯：虚弱な者の慢性の咳・痰

・滋陰降火湯：夜布団に入ると咳き込むもの

・柴朴湯(小柴胡湯合半夏厚朴湯)：喘息、呼吸器疾患症状に加えて、咳嗽・喀痰・呼吸困難あるいは、喘鳴などの湿痰の症状を伴うもの。

## 新座市 松村昭子(昭和35年卒)

今年も四月に入り暖かくなりました。私は元気で過ごしています。奥野和子先生(担任)が23年10月に逝去されたこと西麗会会報で知りました。謹んでお悔やみ申し上げます。

## さいたま市 吉村克昌(昭和35年卒)

古稀を迎え恩師が少なくなるのがさびしいかぎりです。荒井桂元県教育長お元気で!!奥野和子先生のご冥福をお祈り申し上げます。

## 葛飾区 中野寿雄(昭和36年卒)

昨春、脊柱管狭窄症を患い、老人の仲間入りをしました。歩く姿もまさに老人、我ながらもと若々しく歩けないものか、情無く思いますが、これもまた人生。

文京区 林野 宏(昭和36年卒)

48年間、好きで働きました。よく遊びよく学び、まあ納得がいく人生だと感謝しています。やりたいことが沢山あって、病気になるような努力したいと思います。

蓮田市 後藤鏡四郎(昭和39年卒)

昨年は卒業以来はじめて同窓会に出席しました。大変楽しかったです。幹事の皆様有難うございました。次回早いうちに又。

水戸市 根本明德(昭和39年卒)

老いて益々元気です。六月末から剣道居合道普及のため、三回目の南米訪問予定。ペルー、ブラジルの若者達と剣を交えてきます。母校の発展を祈ります。

さいたま市 佐野和義(昭和39年卒)

39年卒の同窓会が昨年開かれしました。皆さんかなり変貌していました。かく言う私も。でも話しをしていくうちに皆んな昔の顔に見えてきます。青春がありました。

横浜市 柏田小沼美智子(昭和40年卒)

花柳奈美三郎として、女流名家舞踊大会「国立大劇場」に二度目の出演。又、老人介護施設のボランティア。

インターナショナルプレイス쿨 (英語を使う子供達・外国人の保育園)で踊りを教えています。

名古屋市 平田春夫(昭和41年卒)

蒲郡のヨットクラブに所属し、三河湾から伊勢志摩にかけて、元気にセーリングを楽しんでいます。リタ

イアして4年になりました。

さいたま市 安東英治(昭和42年卒)

昨年三回目の手術、左股関節換置をそれでも痛いので造影剤撮影を、又悪い所が：骨以外は元気なので二年の時の仲間と暑氣払いを楽しみました。

座間市 桂(渡邊)篤子(昭和44年卒)

葉大卒業後十年研究職、子育て十年の後、調剤薬局勤務です。まだ現役で頑張っています。還暦記念の同窓会開きたかったですね。目下三老人の介護中。

木更津市 赤羽真如(昭和45年卒)

還暦を迎え、孫に囲まれてのんびりと思いきや、これからが何故か仕事と趣味(山小屋生活)に、胸ふくらませていくこの頃です。

練馬区 島 泰子(昭和45年卒)

昭和45年還「激」同窓会、楽しい時間を過ごせました。埼玉会館での夕イガースコンサート的事等とても懐かしい思い出話しが盛沢山でした。

上尾市 村尾真理子(昭和47年卒)

終の棲み家を見つけました。陽だまりと風を楽しむ毎日です。花々が美しく輝いています。

蓮田市 山本横山千香子(昭和47年卒)

昭和四十七年(二十四回)卒、三年八組だった松崎光子さんを捜しています。ご存知の方、彼女に連絡ほしいと伝えて下さい。(情報は西麗会ホームページのinfoあてに下さい)

さいたま市 川上行生(昭和48年卒)

同窓生で一番の親友の田沼健君が平成24年2月に2度目の脳溢血で亡くなりました。通夜・告別式には沢山の同窓生が駆けつけてくれました。ご冥福をお祈りします。

上尾市 藤野佳子(昭和48年卒)

息子に続き、娘も西高にお世話になりました。なんと倅せな母でしょう。ありがとうございます。

北本市 加藤えみ子(昭和49年卒)

校歌の記事、興味深く拝読。30期下の娘と歌って盛り上がりました。ぜひ混声合唱で歌い継いでほしい。一方、訃報欄になつかしいお名前が何人も。合掌。

蕨市 大石 徹(昭和50年卒)

動画サイトにUNMAの小野香代子さんが77年のポップンで優勝した時の「さよならの言葉」の映像がありました。八神純子さんの歌唱でも一度聴いてみて下さい。

大阪市 小島健一(昭和50年卒)

大変お世話になった先生方の訃報に接し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。西高は心の故郷、ほろ苦い、甘酸っぱい思い出の貯蔵庫です。昨年初孫を得ました。

文京区 夏堀 操(昭和50年卒)

いつも会報ありがとうございます。「おおきく振りかぶって」を愛読しております。西高愛がよみがえります。さいたま市 森 真一(昭和50年卒) 今年はオリンピックイヤー。5大会

連続出場中のサッカー代表。西野朗監督が28年ぶりに本大会出場に導いた1996年のアトランタ大会以来だということを忘れないで...

板橋区 石川理恵(昭和51年卒)

昨年の会報の訃報の欄には、担任だった斉藤三夫先生をはじめ、私達がお世話になった先生のお名前が多く、大変残念でした。心よりご冥福をお祈り致します。

横浜市 川口文和(昭和51年卒)

昨夏、オートバイで母校を久々に訪ねました。変わらない風景(校内)にホッとすると共に、母校周りの住宅地老朽化に時の流れを見ました。今年55才、まだまだ働きます!

野田市 小林成信(昭和51年卒)

会報にて平島賢三先生の御逝去の報に接しました。お悔やみ申し上げます。小職は外国暮らしが続いており会報は貴重な情報源です。いつもありがとうございます。

川崎市 玉岡寿美子(昭和51年卒)

某銀行に再就職しました。休日は宝塚、歌舞伎、ジャニーズ、シャロウズ、劇場、ロンドンナイトでお会いしましょう。

神戸市 植田(赤羽根)敬子(昭和51年卒)

結婚を機に関西に移り住み三十年。二人の息子も独立し、夫婦と愛猫二匹の生活になりました。生徒さんと仲良く、ヤマハと自宅の音楽教室の仕事頑張ります。

江東区 野崎美夫(昭和52年卒)

五十歳を過ぎてからもう数年が経つ。それでも心の底には、いつまでも西高時代の忸怩たる自分がある。いつになっても卒業できない想い出が、いまも残っている。

さいたま市 相良浩三(昭和53年卒)

西高を卒業して、はや34年になりました。いろいろな人生の場面を経験して、魂の成長もありましたが、他の世界の存在を、深く愛せるよう、努力したいです。

大阪市 田村義明(昭和54年卒)

川口から横浜、広島そして今年から大阪と移動しています。十年後ぐらいいには、川口へ戻りたいと思います。そして西高へ行って、皆様とお会いしたいです。

蕨市 今原真理子(昭和55年卒)

丁度、半世紀を生きた私達、昭和55年3月卒業生。先生方も交えて、同窓会等、出来たらいいですね。子供達を通じて今の西高の評判を聞くと嬉しい限りです。

豊島区 田口久徳・里香(昭和55年卒)

私達西高クラスメートの夫婦は平成24年春結婚25年を迎えました。担任の大沢千鶴子先生からお祝いをいただき、西高の担任の先生のありがたみを感じております。

三郷市 山下勝矢(昭和55年卒)

先日、30年ぶりに母校を訪れました。今、埼玉県議会議員として母校の地位向上をはかっていきたいと心から

思いました。

足立区 吉田浩子(昭和55年卒)

会報有難うございます。毎年楽しみにしています。昭和55年卒の投稿が無かったのでペンを執りました。皆様お元気ですか？私は身も心も丸くなつて元気です。

桶川市 中山晴喜(昭和57年卒)

現在、建築設計事務所と住宅リフォーム会社を起こし12年になります。大変厳しい経済状況の中、何とか事業を続けられるのは、沢山の友の「おかげ」。西高は最高。

川口市 藤巻 巖(昭和59年卒)

今を遡ること28年前……。卒業という喜びと、浪人という不安をかかえつつ西高生活が終わりました。倅も高3になりました。悔いなく卒業してもらいたいものです。

越谷市 高山憲行(昭和60年卒)

西高が、いつまでも我らの西高でありますように!!

川口市 中條 寛(昭和60年卒)

財務省で警備員をやっていました。今、自活に向けて奮闘中です。法律の勉強もしています。誰かいいアドバイスやいい人がいたら、紹介宜しくおねがいします。

さいたま市 馬場則雄(昭和63年卒)

西高女子サッカー部が強いとのこと。未来の「なでしこジャパン」が現れることを期待するとともに私の励みに頑張ります。ふとんを買うなら馬場ふとん店♡

市川市 秋山(斎藤)美佐子(平成2年卒)

今までは主人の転勤であちこち転居をしていましたが、昨年千葉縣市川市に家を建て、永住を決めました。お近くの方、ぜひお会いしたいです。

富士見市 木村(斎藤)知子(平成4年卒)

10年ぶりの、元1の9同窓会には、参加できなかったけど、またいつかみんなに会える日のことを楽しみにして、生活していこうと思います。

川口市 竹之内 俊(平成6年卒)

昨年、十一月に男児が生まれ、しあわせに暮らしております。

目黒区 中村(新井)清二(平成8年卒)

昨年より、非常勤ですが、大学で教えはじめました。しかし、大卒就職率が五割ということで大学もいよいよ困難な時代になりました。希望を生みだしたいです。

横浜市 高見澤俊平(平成9年卒)

御無沙汰しております。皆様お元気ですね！私もとりあえず元気に頑張ってます。H23・03・26に結婚しました。今度の西麗会には出かけてみようと思っております。

草津市 東村(山田)真純(平成9年卒)

一月末に結婚し、東村になりました。結婚式に来て頂いた皆さん、ありがとうございました。引き続きびわ湖放送(株)で勤務していますので滋賀へ来られたらご覧下さい。

この秋結婚致します。当事者を知者でないことやこしくわかりづら関係ではありませんが、共に幸を祈つて下さい。

富士市 林 祐介(平成12年卒)

社会人になり4年間北海道で過ごしていましたが、昨年転職し静岡へ移り住みました。4月に長男が生まれ、温暖な地で家族3人の生活を始めています。

さいたま市 原田尚仁(平成13年卒)

現在は埼玉県立大宮武蔵野高校で英語の教員として働いています。

さいたま市 関根未歩(平成15年卒)

結婚して、倅にしています。代筆上尾市 武藤茉莉(平成17年卒) さいたま文学館、川島の遠山記念館 江戸東京たてもの園で学んで現在東京都世田谷区の民家園で走りまわっております。良かったら足を運んでください。

さいたま市 泉田悠人(平成18年卒)

今年から教員になりました。大学院での2年間、体操部の練習に参加し、とても素晴らしい時間を過ごしました。今年が私にとっての西高卒業です。次は教員として。





# 情報 交差点

西麗会員、西高生、教職員の  
出合いの広場です。出版、ホー  
ルインワン、ノーベル賞受賞な  
ど、身近な(?) 話題をお寄せ  
ください。

○女子サッカー部は関東大会県予選  
第6位に入賞しました。

○女子バスケットボール部は関東大  
会県予選で第2位となり、関東大  
会に出場しました。

○空手道部は関東大会県予選会にお  
いて、女子団体組手第5位、女子  
団体形第8位に入賞しました。

○ウェイトリフティング愛好会は関  
東大会県予選において62kg級第2  
位に入賞し、2年生森合勇登さん  
が関東大会に出場しました。

○2012年5月14日、EU大使ハ  
ンス・デイトマー・シュヴァイ  
スグート氏が浦和西高校を訪れ、  
ヨーロッパ連合について講演され  
ました。その模様が5月15日付け  
読売新聞等で報道されました。

○2012年7月19日、ドイツ連邦  
共和国大使館シテファン・シュ  
テール政務担当官が浦和西高校を  
訪れ、「世界におけるドイツの役  
割」グローバル化時代の外交」と  
題して講演されました。

○地域の人々と浦和西高校が連携し  
て見沼の自然の再生と保全に関す

る活動を行っている「浦和西高斜  
面林友の会」は、第23回緑の愛護  
功労者として国土交通大臣より表  
彰されました。

○2012年10月、母校格技場にお  
いて進路講演会「未来の種」が開  
催され、本会会員で日本画家の瀬  
下梓さん(平成12年卒、さいたま  
市在住)が講演されました。瀬下  
さんの絵画作品約10点が大九明子  
監督の映画『東京無印女子物語』  
の劇中作品として採用され、初の  
個展を開いたことが2012年7



「未来の種」で講演する日本画家瀬下梓さん  
(撮影 事業部)

月1日付けと8月7日付けの埼玉  
新聞において報道されました。ま  
た、2013年1月には伊勢丹浦  
和店ギャラリーにて個展を開きま  
した。

○本会会員で声優・女優の清水マリ  
さん(昭和30年卒)は2012年  
9月、第62回西高祭のPTA企画  
「文化講演会」において「声優の母、  
清水マリさんからのメッセージ」  
と題して講演され、西高生、保護  
者、卒業生などが昔語りに聞き入  
りました。

○本会会員の井上こみちさん(昭和  
33年卒)は講談社より『災害救助  
犬レイラ』を、朝日学生新聞社よ  
り『はじまりはジャムネコ』を出  
版されました。

○本会会員の小林民雄さん(昭和33  
年卒)は文芸社より『蛭ヶ小島の  
秘密』を出版されました。

○本会副会長村上明夫さん(昭和36  
年卒)は幹書房より『見沼田んぼ  
龍神への祈り 環境保護の市民政  
治学Ⅲ』を出版されました。

○本会会員で絵本作家の筒井頼子さ  
ん(昭和38年卒)は福音館書店よ  
り『こいぬをむかえに』を出版さ  
れました。

○昨年の本会報に寄稿いただいた赤  
井勸さん(昭和45年卒)の著書『オ  
ルガンの文化史』が平成25年1月  
8日付け朝日新聞夕刊「窓」論説  
委員室から」で紹介されました。

○西高のシンボル噴水池(亀池)保  
全の取り組みが平成25年1月18日  
付け埼玉新聞に取り上げられまし  
た。

## お世話になった先生方

平成24年度人事異動

(敬称略)

教頭	小暮 優治	栗橋北彩高校
教頭	市川 史子	大宮東高校
国語	高崎 菜月	蕨高校
教員	柳澤 健一	退職
日本史	阿部 美郷	桶川高校
数学	杉山 保文	退職
数学	加藤 剛	熊谷西高校
数学	齊藤 義教	任期満了
理科	上吹越直也	児玉高校
理科	駒崎 重子	与野高校
保健体育	内田 圭子	岩槻北陵高校
保健体育	相坂 賢将	保健体育課
英語	秋津 安世	桶川高校
英語	青木 香	吉川高校
英語	水石佐和子	岩槻高校
英語	高田 勉	大宮光陵高校
英語	嶋村 和夫	任期満了
家庭	大竹 晃子	越谷総合高校
事務長	吉田 宏夫	草加東高校
事務室	吉野 修平	歴史と民族の博物館
事務室	木村なを子	久喜北陽高校
数学	瀬田恵美子	任期満了
(非常勤)	内田 道子	任期満了

# おめでとう 与野駅開業百年を祝う

2012年11月1日、多くの西高生がお世話になっているJR与野駅は開業100周年を祝いました。

昔ながらの商店が軒を連ねていた西口には高層のツインビルが建ち、お隣にはさいたま新都心駅も開業して景観も大きく変わりました。けれども京浜東北線、高崎・宇都宮線、貨物線など11線もの線路をひとまたぎする長い跨線橋は今も健在です。

## 埼玉の鉄道ことはじめ

埼玉の鉄道は、1883(明治16)年上野から高崎線が敷設されたことに始まりました。当時の県内の駅は、浦和、上尾、鴻巣、熊谷、深谷、本庄でした。大宮駅はまだなく、白井助七町長らの誘致運動により1885(明治18)年に開業しました。現在の大宮駅の盛況からは、とても想像できないことです。

続いて同年には大宮―宇都宮間の東北線も開通しました。当時の駅は、蓮田、久喜、栗橋でした。

## 与野駅トリビア①

「与野駅は浦和市にあった？」

## 平成の大合併によりさい

たま市になる以前、与野市は「駅のない市」として有名でした。そう、与野駅は(旧)浦和市上木崎1丁目1番1号にあり、1985(昭和60)年の埼京線開通で南与野、与野本町、北与野の3駅が開業するまで、与野市には駅はなかったのです。ちなみに現在の所在地は「さいたま市浦和区上木崎1丁目1番1号」です。

## 与野駅開業！ 改札口は西口のみ

1911年(明治44年)旧与野町民の請願等により、大原信号所を拡張して駅を設置することが帝国議会で可決され、1912年(大正元年)11月1日、与野駅が開業しました。



▲写真1 昭和33年当時の与野駅東口 (さいたま市総務課提供)

当時一日の乗降客は約10人。対して駅員は4名いたそうです。

改札口は旧街道である中山道のある側に作るのが一般的でしたが、与野町の役場があったためでしょうか、駅の西側に作られました。したがって、駅の東側の利用者は踏み切りを渡り入場しました。

駅名も、「木崎駅」「大原駅」とする意見もありましたが、最終的に「与野駅」に決着しました。

1932年(昭和7年)赤羽―大宮間が電化され、「省線電車」が通るようになりました。

## 東口の開設と西高通りの開通

浦和西高校が鹿島台から現在の木崎の地に移転したのは1956(昭和31)年でした。

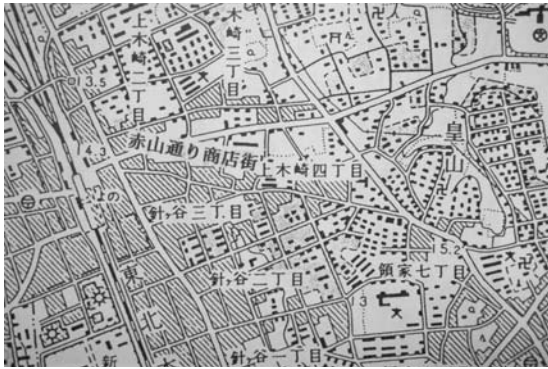
そのころはまだ与野駅と西高を結ぶ通称「西高通り」は開通しておらず、当時の西高生は「赤山通り」からクランク状に曲がって通学したそうです。(地図1参照)

1958年(昭和33年)には与野駅に念願の東口が開設され、西高生にとっても便利になりました。(写真1、2参照)

「西高通り」の開通は1966(昭和41)年まで待たなければなりませんでした。(地図2参照)



▲写真2 与野駅東口開設時の風景 (さいたま市総務課提供)



▲地図2 昭和44年発行の地形図



▲地図1 昭和33年発行の地形図

なお、「西高通り」は旧中山道から産業道路までを「上木崎・与野停車場線」と言い、正式な名称は「埼玉県道120号線」です。

### 橋上化のモデルとして

東口開設からわずか2年後の1960(昭和35)年1月20日、与野駅は橋上化されました。その後、与野駅をモデルとして全国の駅で橋上化が進められました。さいたま市にある鉄道博物館には「橋上化の初期例」として45分の1のミニチュアが展示されています。

### 与野駅トリビア②

「4月のカルタ大会？」  
今のように「Suica」などというもののなかった昔のはなしです。電車通学をする新入生は3月の入学説明会のときに通学定期券を予約し、4月8日の入学式の帰りに学割証と引き換えに与野駅で購入しました。  
与野駅の通路にはこの日のためにテーブルが特設され、ズラリと並べられた新入生分の定期券の中から「読み手」と「取り手」の駅員さんが呼吸を合わせて探しだし、その光景はさながらカルタ大会のようでした。

### 「時代まつり」のにぎわい

与野駅開業80周年を控え、1991(平成3)年、与野駅西口商店街の主催で「大正時代まつり」が開催されました。

2012(平成24)年には第21回となるまつりが開催され、当時の装束に身を包んだ仮装パレードや記念の展示などがにぎやかに行われました。

### 与野駅トリビア③

「与野駅にサクラソウ？」  
埼玉県の県花は「サクラソウ」。田島に自生するサクラソウは今や貴重な存在です。  
入学、進級した西高生が新しい環境に慣れてきたころ、与野駅のコンコースには地域の方の協力でピンクや白など色とりどりのサクラソウの鉢花が展示されます。与野駅の春の風物詩です。これを見ると「さくら草まつり」も近いと感じます。

### 東口の再開発は

与野駅の西口地域は、1960年代に土地区画整理事業が策定されていますが、反対運動により実施は停滞していました。その後、さい

たま新都心の計画が進むにつれて、1998年頃から開発が進み、高層マンション、駅前ロータリー、道路の拡幅が一体的に整備されました。

与野駅東口については、西高通りの中山道から西側道路の拡幅や駅前ロータリーの整備を内容とする都市計画が既に決定されていますが、事業化に至っていません。地元では与野駅東口駅前まちづくり促進会を設置して、ワークショップの開催やアンケート調査を実施して、引き続き、地権者と意見調整をしている段階とことです。交通安全や災害対策からも早急に整備して欲しいものです。

### 与野駅トリビア④

「1番線が下り線？」  
JRの駅ホームの番線のつけ方は駅長事務室のあるホームを1番線とするそうです。多くの駅では1番線が上り線になっていますが、与野駅では北行(下り大宮方面行)になっています。ちなみに1番線の電車発車メロディはさいたま市歌「希望(ゆめ)のまち」で、作曲者は浦和高校出身のタケカワユキヒデさんです。

(広報部 大熊・小林)

二〇一二年度

寄付者のお名前

(敬称略)

いつも西麗会への尊いご寄付をありがとうございます。約二万人の西麗会員の心を結ぶごさいます。約二万人の西麗会員の心を結ぶ会報の印刷・発送にあてられるほか、現役西高生の自治活動を応援するため、西高祭補助費などにも使わせていただいております。本欄は毎年一月末日をもって区切り、それ以後に届いた分は翌年の会報に掲載いたします。



- |                       |                       |                       |                      |                      |                      |                       |                       |                      |                      |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|
| 昭和三十二年卒(旧12回)<br>天野美子 | 昭和三十二年卒(旧12回)<br>平柳和子 | 昭和三十三年卒(10回)<br>小川君子  | 昭和三十二年卒(12回)<br>河岡克子 | 昭和三十三年卒(11回)<br>並木紀子 | 昭和三十二年卒(9回)<br>今井忠   | 昭和三十三年卒(14回)<br>長本和子  | 昭和三十三年卒(13回)<br>小川敬子  | 昭和三十三年卒(17回)<br>高橋次男 | 昭和三十三年卒(19回)<br>宮田好江 |
| 昭和三十二年卒(2回)<br>河岡克子   | 昭和三十三年卒(9回)<br>前田正夫   | 昭和三十三年卒(10回)<br>齋藤晃治  | 昭和三十二年卒(3回)<br>小川君子  | 昭和三十三年卒(11回)<br>清山和男 | 昭和三十二年卒(9回)<br>安田邦夫  | 昭和三十三年卒(14回)<br>藤田量三郎 | 昭和三十三年卒(13回)<br>水野明子  | 昭和四十一年卒(17回)<br>高橋謙論 | 昭和四十三年卒(20回)<br>池辺優  |
| 昭和三十二年卒(2回)<br>鈴木和子   | 昭和三十三年卒(6回)<br>前田孝二   | 昭和三十三年卒(10回)<br>関口彌   | 昭和三十二年卒(3回)<br>岡田幸子  | 昭和三十三年卒(11回)<br>真下寛明 | 昭和三十三年卒(9回)<br>近藤聡子  | 昭和三十三年卒(14回)<br>藤田静子  | 昭和三十三年卒(13回)<br>秋山喜代子 | 昭和四十一年卒(17回)<br>山口幸男 | 昭和四十三年卒(20回)<br>田中勉  |
| 昭和三十二年卒(4回)<br>井原幸子   | 昭和三十三年卒(7回)<br>松田正剛   | 昭和三十三年卒(10回)<br>内藤光枝  | 昭和三十二年卒(4回)<br>吉田克子  | 昭和三十三年卒(11回)<br>松本和子 | 昭和三十三年卒(9回)<br>栗原能   | 昭和三十三年卒(14回)<br>福島真砂代 | 昭和三十三年卒(13回)<br>秋山喜代子 | 昭和四十一年卒(17回)<br>山口幸男 | 昭和四十三年卒(20回)<br>山田和博 |
| 昭和二十八年卒(5回)<br>武井林寿   | 昭和三十三年卒(8回)<br>新井英一   | 昭和三十三年卒(10回)<br>高村泰裕  | 昭和三十二年卒(4回)<br>梅田亮子  | 昭和三十三年卒(11回)<br>鈴木和子 | 昭和三十三年卒(9回)<br>高木二郎  | 昭和三十三年卒(14回)<br>増田一仁  | 昭和三十三年卒(13回)<br>高橋司全  | 昭和四十一年卒(17回)<br>高橋次男 | 昭和四十三年卒(20回)<br>池田博  |
| 昭和二十九年卒(6回)<br>島田幸子   | 昭和三十三年卒(8回)<br>松本晃    | 昭和三十三年卒(10回)<br>高村泰裕  | 昭和二十八年卒(5回)<br>細田喜一郎 | 昭和三十三年卒(11回)<br>並木紀子 | 昭和三十三年卒(9回)<br>立川武司  | 昭和三十三年卒(14回)<br>吉岡信二  | 昭和三十三年卒(13回)<br>三浦庸子  | 昭和四十一年卒(17回)<br>山口幸男 | 昭和四十三年卒(20回)<br>松田博  |
| 昭和三十一年卒(8回)<br>西口和子   | 昭和三十三年卒(8回)<br>荒井利尚   | 昭和三十三年卒(10回)<br>内藤光枝  | 昭和二十九年卒(6回)<br>小林稔正  | 昭和三十三年卒(11回)<br>清山和男 | 昭和三十三年卒(9回)<br>府川代四男 | 昭和三十三年卒(14回)<br>眞田孝雄  | 昭和三十三年卒(13回)<br>高橋司全  | 昭和四十一年卒(17回)<br>高橋次男 | 昭和四十三年卒(20回)<br>山田和博 |
| 昭和三十一年卒(8回)<br>森田綾子   | 昭和三十三年卒(8回)<br>田島洋子   | 昭和三十三年卒(10回)<br>鈴木衛   | 昭和二十九年卒(6回)<br>国谷桂子  | 昭和三十三年卒(11回)<br>真下寛明 | 昭和三十三年卒(9回)<br>齋藤庸夫  | 昭和三十三年卒(14回)<br>増田一仁  | 昭和三十三年卒(13回)<br>高橋司全  | 昭和四十一年卒(17回)<br>山口幸男 | 昭和四十三年卒(20回)<br>山田和博 |
| 昭和三十一年卒(8回)<br>大熊幸子   | 昭和三十三年卒(8回)<br>吉村克昌   | 昭和三十三年卒(10回)<br>竹ノ谷光美 | 昭和三十一年卒(7回)<br>森井良子  | 昭和三十三年卒(11回)<br>松本和子 | 昭和三十三年卒(9回)<br>池田稔   | 昭和三十三年卒(14回)<br>増田一仁  | 昭和三十三年卒(13回)<br>高橋司全  | 昭和四十一年卒(17回)<br>山口幸男 | 昭和四十三年卒(20回)<br>山田和博 |
| 昭和三十一年卒(7回)<br>西口和子   | 昭和三十三年卒(8回)<br>吉村克昌   | 昭和三十三年卒(10回)<br>竹ノ谷光美 | 昭和三十一年卒(7回)<br>清水英明  | 昭和三十三年卒(11回)<br>松本和子 | 昭和三十三年卒(9回)<br>林野宏   | 昭和三十三年卒(14回)<br>増田一仁  | 昭和三十三年卒(13回)<br>高橋司全  | 昭和四十一年卒(17回)<br>山口幸男 | 昭和四十三年卒(20回)<br>山田和博 |
| 昭和三十一年卒(7回)<br>西口和子   | 昭和三十三年卒(8回)<br>吉村克昌   | 昭和三十三年卒(10回)<br>竹ノ谷光美 | 昭和三十一年卒(7回)<br>清水英明  | 昭和三十三年卒(11回)<br>松本和子 | 昭和三十三年卒(9回)<br>林野宏   | 昭和三十三年卒(14回)<br>増田一仁  | 昭和三十三年卒(13回)<br>高橋司全  | 昭和四十一年卒(17回)<br>山口幸男 | 昭和四十三年卒(20回)<br>山田和博 |
| 昭和三十一年卒(7回)<br>西口和子   | 昭和三十三年卒(8回)<br>吉村克昌   | 昭和三十三年卒(10回)<br>竹ノ谷光美 | 昭和三十一年卒(7回)<br>清水英明  | 昭和三十三年卒(11回)<br>松本和子 | 昭和三十三年卒(9回)<br>林野宏   | 昭和三十三年卒(14回)<br>増田一仁  | 昭和三十三年卒(13回)<br>高橋司全  | 昭和四十一年卒(17回)<br>山口幸男 | 昭和四十三年卒(20回)<br>山田和博 |
| 昭和三十一年卒(7回)<br>西口和子   | 昭和三十三年卒(8回)<br>吉村克昌   | 昭和三十三年卒(10回)<br>竹ノ谷光美 | 昭和三十一年卒(7回)<br>清水英明  | 昭和三十三年卒(11回)<br>松本和子 | 昭和三十三年卒(9回)<br>林野宏   | 昭和三十三年卒(14回)<br>増田一仁  | 昭和三十三年卒(13回)<br>高橋司全  | 昭和四十一年卒(17回)<br>山口幸男 | 昭和四十三年卒(20回)<br>山田和博 |

- 島茂美 島泰子 富樫正紀 中川順子 根本みどり 小野裕子 昭和61年卒(38回)
- 中野千枝子 船越隆子 若林伸也 青井光江 高田有子 石川優子 信田照幸 石川民見子 平成8年卒(48回)
- 赤羽真如 阿部博之 田中政信 青山篤 今原真理子 平井順子 石川幸 長谷川友孝 栗原文子 和田牧子 平成9年卒(49回)
- 新井康俊 上野邦雄 夏堀操 大石徹 田口久徳 田口里香 松田勇 高久圭二郎 大塚信之介 平井博明 阿部愛 三善隆弘 上原知江 平成10年卒(50回)
- 金子弘 吉田伸 森真一 河村郷子 山下勝矢 辨野恵美子 鈴木成子 島村明美 前田英子 片岡浩一 坂西野風子 加藤まみ 平成11年卒(51回)
- 井原誠吉 齊藤登 新藤明夫 清水恵子 千田寛 戸田仁 吉田厚子 吉岡典子 奥山信男 石川一善 半田亮子 上吉原悠貴 平成12年卒(52回)
- 昭和46年卒(23回) 藤田実 出井真理子 早船雅文 鳴原勝久 口ス衣代 宝寺浩 長島典夫 泉祐子 平井博明 阿部愛 三善隆弘 上原知江 平成13年卒(53回)
- 昭和47年卒(24回) 福井一夫 堀富雄 伊藤京子 大迫義谷 山崎正一 福川英司 内山美穂子 石塚望 海老原朱里 相馬優一郎 原田尚仁 山口畑一先生 旧職員 斎藤諒大 竹内奈津美 平成14年卒(54回)
- 塩見幸子 野口万里子 石川理恵 守屋麻里子 山内佳津美 楠瀬久美子 平成15年卒(55回)
- 今岡章夫 細田陽子 関口幸子 秋葉弘子 久保村康史 佐藤真澄 奥山真理綾 青柳亮子 松永智子 森切瑞恵 市村里紗 昭和56年度 卒業生同窓会一同 平成16年卒(56回)
- 白石哲郎 兼良子 浅見哲哉 星葉子 根岸栄子 市川健介 俵知之 小野民由希 平成17年卒(57回)
- 宍戸正子 小林恵美 昭和53年卒(30回) 荒井正明 小笠原信一 小林恵子 依知之 小野民由希 平成18年卒(58回)
- 林明美 福田定男 新藤葉子 河野正 内田圭子 高木美香 昭和59年卒(36回) 大西徹 橋本雅子 平成19年卒(59回)
- 間山和幸 高橋理恵子 河野正 内田圭子 高木美香 昭和59年卒(36回) 大西徹 橋本雅子 平成19年卒(59回)
- 小谷野博史 杉山早苗 渡部智博 中山晴喜 中山晴喜 山内佳津美 松永智子 森切瑞恵 市村里紗 昭和56年度 卒業生同窓会一同 平成20年卒(60回)
- 昭和48年卒(25回) 安藤裕子 野口佳代子 赤羽明宏 阿野清治 長島和久 濱野広悦 大西徹 橋本雅子 平成20年卒(60回)
- 藤野佳子 吉倉康晴 和田哲也 西山幸代 高山憲行 平松ゆう子 本間幸信 天池麻由美 平成21年卒(61回)
- 吉田翁 三田村まどか 藤巻巖 伊藤育子 藤巻巖 伊藤育子 渡邊ルミ 竹内大介 平成22年卒(62回)
- 昭和49年卒(26回) 会田久子 高橋正 田中こずえ 田村義明 三野裕之 渡邊ルミ 竹内大介 平成23年卒(63回)
- 武井隆一 加藤えみ子 小林功 山中英実 間瀬功一 加藤美和 岩本和久 平成24年卒(64回)
- 人見敏明 島内則子 松本和幸 吉田浩子 笠井千奈美 大熊康典 市原雄心 平成25年卒(65回)
- 昭和50年卒(27回) 道下敦子 栗原宏夫 信沢雅志 杉井美佐子 青木香 増田恵子 市原雄心 平成25年卒(65回)

訃報

謹んでお悔やみ申し上げます。

○富沢栄治先生(英語)

平成24年9月に逝去されました。

○森 勝彦先生(教頭)

平成24年に逝去されました。

○明司弘夫先生(校長)

平成25年1月30日に逝去されました。



# 同窓会だより 今日だけ高校生

## 卒業三十年記念同窓会

発起人代表 (昭和58年卒)

吉田浩之・追立(内田) 真由美  
北脇賢治・福島(佐藤) 久美子

気がつけば、思い出多き西高を卒業して随分経ちました。部活やクラスでは集まっているように

でしたが、学年全体で行う話を持ち上がり、メールや口コミで25人が集まりました。その方々を中心に発起人会を開き、一年前から準備を進め、2011年10月22日(土)166人が浦和ワシントンホテルに集まり、盛大に同窓会が開催で



きました。(準備や運営を同窓会業者に任せたので、スムーズな開催ができました。)

当日は、斎藤恂・諏訪部健・永澤正明・藤和弘・中村正美各先生方の出席のもと、卒業後の年月を一気に埋めて、気がつけば西高生に戻っていました。校歌を伴奏録音してくれたノン、乾杯の挨拶をかつこよくキメてくれた松ちゃん、締め挨拶をまとめてくれた藤市長頼高くん、その他、協力してくれた皆さん、本当

にありがとう。

この日以降、一、二年のクラスも含め、様々なクラス会が開かれていることはうれしい限りです。

今後、学年同窓会は四年ごとに行う予定です。還暦もみんな迎えられるように元気いきましょう。

## 卒業二十五周年を迎えて

森 大樹 (昭和62年卒)

私達が西高を卒業して四半世紀が過ぎた昨年、さいたま新都心のラフレさいたままで、2012年8月12日に141名の参加者の下、盛大に同期会を開くことができました。

初めての同期会に、多くの友人達が集まれるようにと、一年以上をかけて、人から人へと親交を繋げ、案内をしてゆきましたが、西高祭で頑張っていたクラスは、今でも親交の繋がりも多く、全国大会に出たあの人は、きっと今でも...、そんな気持からネットを検索してみると、今もユニフォームを着て変わらず元気な姿を見せていました。

そんな消息をたどる作業も、西高時代の余韻を感じる、懐かしさも楽しい作業でした。そして、あの同期会の後、幾つかのクラス会が開かれ、



一方で仕事や趣味での集まりが、在学時の親交には関係なく開かれていくようです。

さて人生振り返したばかり?の私達に大きな力を与えてくれた同期会、今後も、四年に一度は開こうかと考えています。ご連絡がつかなかった皆さん、親しかつたご友人と連絡を取り合ってみては如何です?  
<http://www.daiju.org/nishkou/>

## 卒業から約十年の 時が流れて

岡山明弘(平成15年卒)

平成24年11月24日(土)浦和ワシントンホテルにて、同窓会を開催致しました。113名の参加者があり、中には遠く青森からの参加者もおりました。

当時ご担任頂いた飯野先生と白石先生にもご参加頂き、非常に華やかな笑顔の絶えない会となりました。

余興として、幹事団が事前に撮影した動画「与野駅から西高までの懐かしき通学経路」と「現在の校舎内の様子」を流すと、高校生時代の思い出が蘇ると共に、十年間で変化した風景に「おおっ」と歓声上がる場面もありました。与野駅前交差点の大きな木が無くなっていること。学内に自習室ができていること。懐かしさとともに、卒業から約十年という時の流れを実感しました。

同じ校舎の中で勉強やスポーツに打ち込んでいた我々も、現在では多様な進路に進みましたが、卒業生一同、母校・西高を愛しているという気持ちは共通

のような気がします。次回の開催は五年後か十年後か分りませんが、その時もまた、お互いの多様性を認め合いながら笑い合える、西高らしい会にできればと願っております。

会の開催にあたり、ご協力を頂いた



た現職の先生方及び、突然の訪問にも関わらず、学内を案内して頂いた教頭先生のご好意に感謝致します。

## 古稀記念同期会 開催される

芳賀 勝(昭和36年卒)

昨年の11月17日(土)正午から浦和ロイヤルパインズホテルで、昭和36年卒業の西高13回生「古稀記念同期会」が開催されました。

13回生の六クラス合同同期会は、平成15年に還暦を迎えたのを記念し開催されてから、約二年毎に行われております。

昨年数え年か満年齢で古来稀なる歳を迎えたのを記念して、「古稀記念同期会」を開催しようとして2月から幹事が準備を始めました。昭和の「あの頃」に戻ってみませんかと呼びかけ、当日は北海道や九州等全国から103名の同期生と長谷川先生が出席しました。

五十年以上も前の昭和33年から36年にかけての出来事や西高での行事、流行歌、

映画、ベストセラー、世相、流行語等と当時の様々な写真をパソコンに取り込み、パワーポイントで編集し、約一時間スクリーンにスライドショーで映し出しました。

懐かしい写真が上映されると少しずつですが、楽しかった西高時代の記憶が蘇ってきて、想い出話にも花が咲きました。

出席者が当日持参したプレゼントの抽選会も行われ、予定した四時間では足りない位で、二次会、三次会へ行った人も多かったようです。



# フォト・レポート



西高祭PTA講演会で語る  
声優清水マリさん (9頁参照)



「しあわせの青い鳥」が来校者をお出迎え

## 西高祭 2012

(撮影 広報部)



ゆかたも似合っていました



教室にはトトロもいました

発行・編集

### 西麗会

発行人 高橋幸雄  
編集人 大熊幸雄

〒330-0042  
埼玉県さいたま市浦和区木崎3-1-1  
FAX 048 (830) 1117  
西麗会メールアドレス  
info@seireikai.org  
西麗会ホームページ  
http://www.seireikai.org/index.html

#### 広報部会

大熊幸雄・本間葉子  
斉藤俊一・小林 功  
岩本和久・片岡浩一

さい。西麗会ホームページもご覧ください。(大熊)

#### 編集後記

西麗会会報第37号をお届けします。長い間、編集の取りまとめをいただいた村上明夫さんが、広報部を卒業されました。

年年歳歳 花相似たり  
歳歳年年 人同じからず

この会報が、皆さんの交流の場として活用されるよう、スタッフ一同、努めてまいります。「私と西高」の大川孝雄さんは、ブログ「浦和西高物語」に続いて「ぼくらの60's & 70's :そして今」をup中です。